

平成 17 年 3 月 14 日

両備グループ代表 小嶋光信様

貴志川線の未来を” つくる” 会 会長 濱口晃夫

WCAN 貴志川線分科会 会長 辻本勝久

WCAN 公共交通検討隊 会長 伊藤雅

謹啓

春まだ浅いこの頃、小島様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私どもは存廃問題に揺れる南海電気鉄道貴志川線の存続に向けて協力して活動している「貴志川線存続住民会議」の主要な構成メンバーです。

目下、和歌山市・貴志川町は同線の運営引継会社を公募中です。私どもとしては、引き継ぐ運営会社が今後の貴志川線存続のカギを握っていると考え、種々の関係者より情報を集めていたところ、貴グループが、貴志川線の件で和歌山を御訪問になったと聞きました。

貴グループは、「運輸・観光」「情報」「生活」の3事業を有機的に組み合わせ、地域貢献を意識した事業展開をなさっています。また、近年では中部国際空港へのアクセス航路にも参入され、岐阜市の名鉄線引き継ぎを打診されるなど、近畿圏以東でも果敢な事業展開をなさっているのを敬意を持って拝見しておりました。

私どもは、貴志川線のような地方鉄道の運行を将来にわたって持続する責任は、運営会社や補助をする行政だけにあるのではなく、当然地域住民も責任を持って協力すべきものと考えております。この考えの基に現在、われわれは貴志川線に積極的に乗車しているだけでなく、貴志川線各駅の清掃・植栽や、集客イベントの企画と実施、並行道路交通状況の調査分析活動、市民ファン勉強会、和歌山都市圏の交通ビジョンの提案、地域住民への啓発活動等を積極的に行っております。勿論、引き続いて、沿線の各種団体と連携しながら、運営引き継ぎ会社をさらに強力にバックアップする覚悟でおります。

どうか、私どもの真摯な願いをお汲み下さり、貴志川線運営引き継ぎ会社として応募下さいますよう、心よりお願い申し上げます。貴グループを和歌山都市圏の仲間としてお迎えできる日を、心からお待ち申し上げます。

敬具

添付資料

- 1：貴志川線の未来を” つくる” 会 web ページの主要部分
- 2：WCAN（和歌山市民アクティブネットワーク）の御紹介
- 3：辻本勝久編著・WCAN 貴志川線分科会著『貴志川線存続に向けた市民報告書－費用対効果分析と再生プラン－』

本件のお問い合わせ先：電 073-457-7772 電子メール ktjapanh@emily.eco.wakayama-u.ac.jp

辻本勝久（和歌山大学経済学部助教授）

〒 640-8510 和歌山市栄谷 9 3 0 和歌山大学経済学部内